

令和2年3月23日

令和元年度 一年間の振り返り（施設の自己評価結果報告書）

幼保連携型認定こども園

八田荘こども園

◆園全体◆

- ・避難訓練は、時間帯を変えて行えたので良かった。来年度は、避難場所まで移動することも実施したい。
- ・不審者対策に対する当園職員の認識がまだ不十分なので、来年度は色々な場面を想定して訓練を行なっていきたい。
- ・地震、災害時のマニュアル、災害時の引き渡しカードは作成したものの、その活用がスムーズにできる方法を職員間でまだ話し合えていない。急な災害に備えて、職員間で十分に協議をして、保護者に対しても理解してもらえるよう努めていきたい。
- ・職員研修は、年間を通してよくできていた。研修発表もできたので、来年度も引き続き研鑽を重ねていきたい。
- ・保護者の協力を得て、徴収金（利用料・副食費等）をほぼ全額引き落としにしたことで、現金扱いによる煩わしさが少なくなり良かった。（事務）

◆各クラス◆

年間目標（0歳児）

- ・特定の保育者等が愛情豊かに関わることで、安心して過ごせるようにする。
- ・簡単な身のまわりの事をしてみようとする。

→育児担当制を取り入れて、同じ保育者が関わるようにした。担当者が休みの時は、個々の関わり方を職員間で伝え合い、情報共有していた。

→月齢が高くなるにつれて、自分で出来ることも増えてきた分、子どもがやってみようと思える工夫（マークシールを貼るなど）をすればよかった。

年間目標（1歳児）

- ・身のまわりのことを手伝ってもらいながら自分でできるように個々に合わせた援助をする。

- ・安心して過ごす中で言葉や気持ち、音に合わせて体を動かすなど表現することを楽しむ。

→食事・排泄時は育児担当制を取り入れていたので、保育者との信頼関係を早くに築くことができた。また、食事や衣服の着脱では月齢や個々の成長に合わせた援助をすることで、少しずつ自分たちでも身の回りのことができるようになった。

→リズムックや体操を多く取り入れて、身体を動かす楽しみを味わえるようにした。

### 年間目標（2歳児）

- ・個々の成長に合わせて、一人ひとりの思いを大切にし、子ども達自身が出来た喜びを感じられるようにする。

- ・保育者等の手を借りながら、基本的な生活習慣が少しずつ身に付く。

→保育者の必要に応じた援助や励ましにより、自分でもやってみようとする姿が見られ、出来ることが増えたことで自信がつき、競争心も芽生えた。

→自分でしようとする気持ちを大切にしていたが、もう少し子どもに寄り添い、手助けすることも必要であった。

### 年間目標（3歳児）

- ・自分の思いを言葉で伝えることができるよう気持ちを受容する。

- ・身の回りのことが自分でできるようになる。

（衣服を丁寧に畳む・スプーンやお箸で最後まで完食する）

→サークルタイムなどで自分の思いを伝える機会を設け、人前で話すことや、気持ちを伝えられことを褒めたり、中々言葉が出てこない子どもに対しては気持ちカードなど視覚教材を使ったりして個々に合わせた配慮をすることで自分の思いを言葉で伝えることができた。

→身の回りのことは丁寧に見守り、保育者が毎日確認するようにし、出来てない部分をその都度、声をかけていたので自然と身に付いた。

### 年間目標（4歳児）

- ・保育教諭や友だちとの関わりの中で子どもの主体性を大切に、保育を展開する。

- ・保育教諭や友だちの親しみや信頼感を持ちながら、仲間の一人としての自覚をもつ。

→子どもたち同士で考えられる遊びや、チームでの活動を多く取り入れた。

→一つの目標に向かってみんなで協力し合えるリレーやゲーム遊びなどを取り入れた。

### 年間目標（5歳児）

- ・子どもの主体性を大切に、自信を持って行動できるようにする。

- ・友だち同士、お互いの良さを認め合いながら、共通の目的に向かって遊びを広げる。

→サークルタイムを毎日行って自分の気持ちを発言したり、友だちの良い所を発表したりしてお互いの良さに気づくことができるようにした。

→生活面で、もう少し年長らしくリーダーとしての自覚や自信を持って行動できる保育をより多く取り入れて、内面の成長に繋げていきたかった。